WOODTEC クールジャパン　スリムタイプ　施工説明書

・このたびは弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には、施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書を一読くださいますよう、お願い致します。

安全上のご注意

⚠ 注意 ※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。	• 接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。 • 接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。守らない場合、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

①この商品は、一般内装用の装飾壁材・天井材です。屋外用にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。

②この商品は、台所などの壁や天井で防火性能が必要なところではご使用になれません。

③直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、割れ、反りなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。

④施工下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、製品へのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反りが発生することがあります。

⑤接着剤、釘は必ず指定のものをご使用ください。

⑥施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、杢柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。

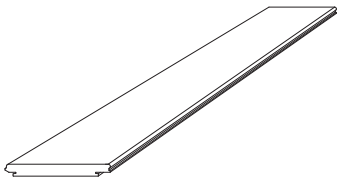
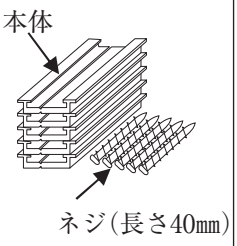
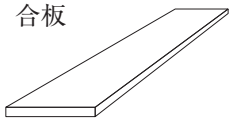
⑦施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具（保護メガネ、防じんマスクなど）を使用してください。

⑧木材は湿度の変化により伸縮する性質があります。そのためパネルの長手方向の継ぎ目に0.5mm程度、周囲に2mm程度のスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。（パネル短手方向の継ぎ目は専用の取付パーツで施工することにより、0.5mmの隙間があきます。）

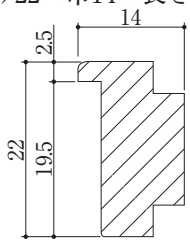
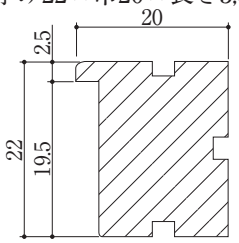
1 梱包内容・あらかじめ用意するもの

1 梱包内容

各部材の名称は 「3．納まり例・部材名称」を参照ください。

名称		①パネル本体	②取付パーツ	③スペーサー	④施工説明書
形状・寸法		厚み17×巾148×長さ1,818㎜ 		厚み2.5×巾50×長さ300㎜ 	本書
入数	4枚入	4枚	各20個	2枚	1通
	1枚入	1枚	各5個	1枚	なし

※オプション部材　【別売品】

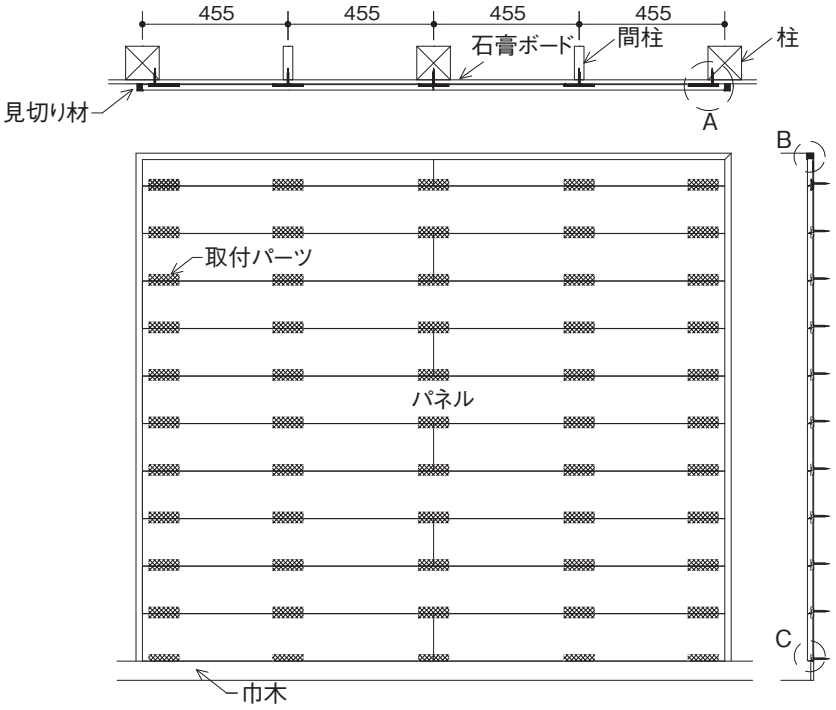
名称	見切り材Aタイプ	見切り材Bタイプ
品番	KSPM130-□□36	KSPM230-□□36
形状・寸法	厚み22×巾14×長さ3,000㎜ 	厚み22×巾20×長さ3,000㎜ 
入数	1本	1本

名称	取付パーツ	凹凸施工用 アタッチメント	トリプルグリップ	補修液	
				ホワイト	ブラック
品番	KSPT20	KSPT50A	IFKA2	TUP-391	TUP-399
備考	・本体 ・施工用ネジ	・本体 ・施工用ネジ			
入数	各20個	各50個	8個	各50ml	

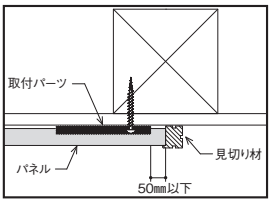
2 あらかじめ準備するもの

・水準器　・電動ドライバー　・ドライバー（+）　・軍手（手袋）　・メジャー　・木工用接着剤（推奨　コニシ㈱：CH-18）
・下地探知工具　・養生材､養生テープ　・丸のこ　・のこぎり　・フィニッシュネイラー（釘頭 2㎜，長さ 40～50㎜）
・墨つぼ　・サンドペーパー #180～240　等

2 納まり例･部材名称

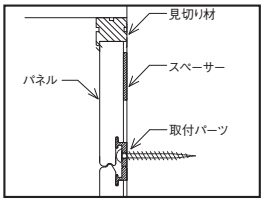


A部拡大図



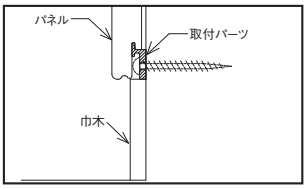
取付パーツはパネルの短部から50㎜以下で固定してください。

B部拡大図



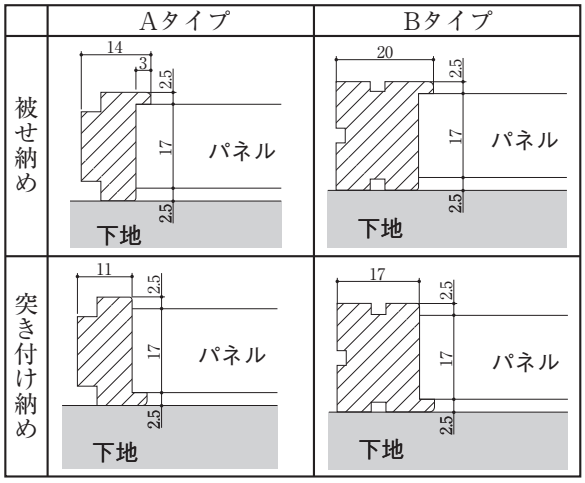
最上段のパネルは、製品に同梱のスペーサーをパネルと下地の間に挟み、パネル表面からフィニッシュネイルで固定してください。

C部拡大図

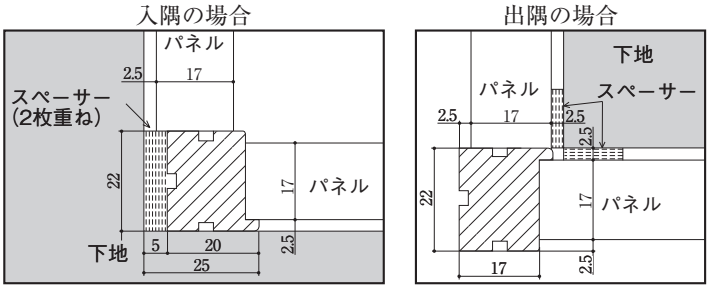


1段目の取付パーツは、取付パーツの溝に沿ってカッターなどで裁断し、ネジ穴がある方を使用します。

【見切り材を使用した場合の納まり】



※入隅･出隅はBタイプをご使用ください。

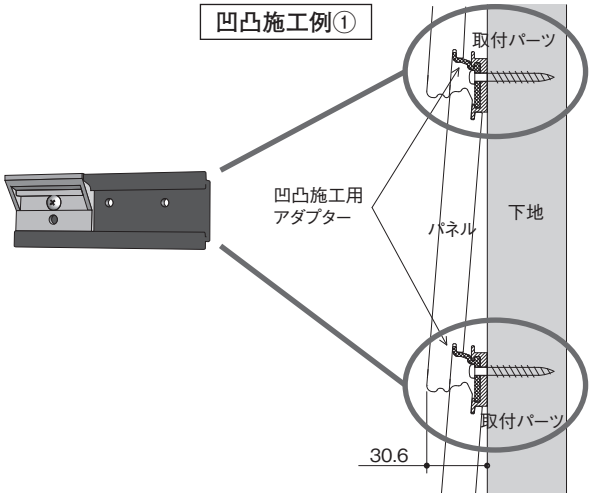


見切り材は木工用ボンドを塗布し、フィニッシュネイルで下地の柱・間柱（または野縁）に固定してください。

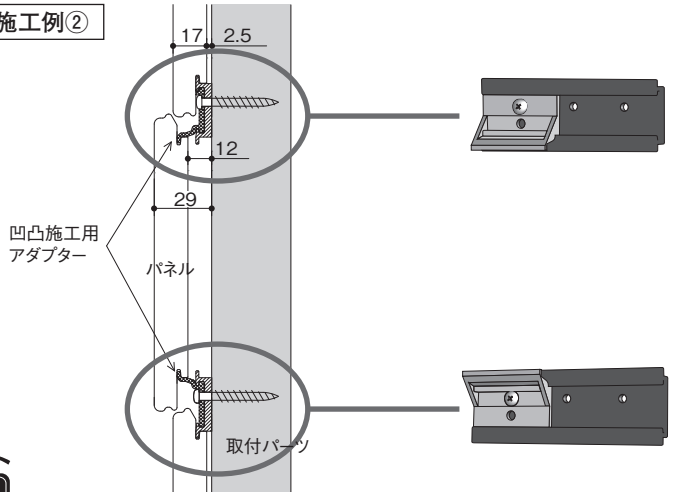
※凹凸施工の場合

凹凸施工を行う場合は、凹凸施工用アダプター(別売)をご用意ください。取付パーツに凹凸施工用アダプターを嵌め込んで使用します。

凹凸施工例①



凹凸施工例②



ポイント

凹凸施工用アダプターの向きにご注意ください。

3 下地の種類と条件

下地の種類と条件

・柱・間柱・野縁などの木質下地（または鋼製スタッド） + 捨貼り合板（9㎜以上）
・柱・間柱・野縁などの木質下地（または鋼製スタッド） + 石膏ボード（9㎜以上）
木質下地がない箇所への取付パーツの固定は、トリプルグリップ （別売） を使用してください。
鋼製スタッドの場合はネジ固定箇所に先穴加工が必要になる場合があります。

ポイント
・必ず施工前に下地の種類や状態をご確認ください。
・パネル施工前に仮並べして全体の調和を確認してください。
・製品に直接コンセント・スイッチや照明器具・テレビなどの重量物や熱を発生する器具を取り付けることはできません。

4 施工手順

手順1 パネルの割付･長さカット

1 パネルの割付

・パネル短辺の接続箇所が一致しないように接続箇所をずらして割り付けてください。（909㎜ずらしをおすすめします。）また、取付パーツのピッチは柱・間柱（または野縁）のピッチに合わせて455㎜以下になるようにしてください。下地に芯材が無い場合は、トリプルグリップ（別売）をご使用ください。
・パネルは柱・間柱（または野縁）に対し、長手方向が直交するように割付てください。

2 長さカット

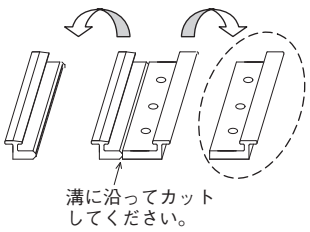
割付に従ってパネルを長さカットしてください。裁断面にササクレやバリ等が発生した場合は、サンドペーパー（#240）で削って仕上げてください。また、着色品の場合は補修液（別売）にて裁断面を着色補修してください。
（パネルの汚れ防止のため軍手など、手袋使用をお薦めします。）

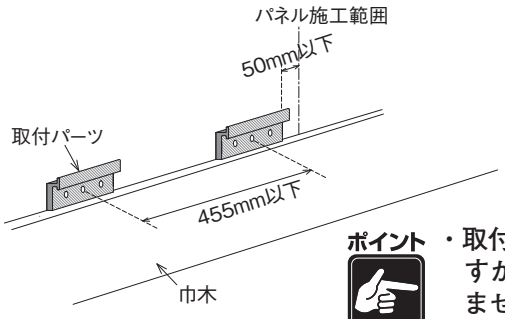
ポイント
・パネルの接続はサネ勘合となっています。カットする際にオン実とメン実の方向を確認してください。

手順2 1段目のパネルの取付

1 取付パーツの固定

本製品の施工は下基準が基本であり、下から順番に積み上げて施工します。
・１段目の取付パーツの取付位置の基準線を墨出ししてください。（巾木を基準にする場合には巾木の水平が出ていることをご確認ください。）
・取付パーツの溝に沿ってカッターなどで裁断し、下地の柱・間柱（または野縁）の位置に合わせて455㎜以下の間隔で同梱のネジで固定してください。

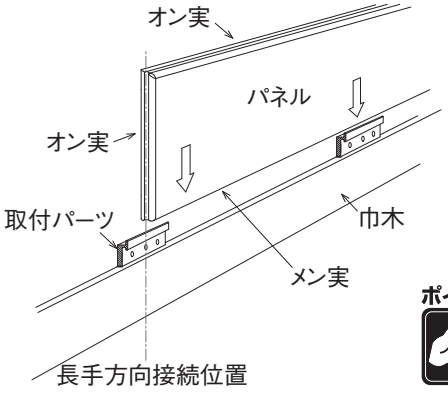




ポイント
・取付パーツには3箇所ネジ穴がありますが、ネジ打ちは中央部1箇所で構いません。
・取付パーツの向きにご注意ください。

2 パネルの固定

パネルのメン実に取付ブロックを勘合してください。パネルが取付パーツにしっかりと勘合されていることをご確認ください。パネルの長手方向の接続部は0.5㎜程度の隙間をあけてください。

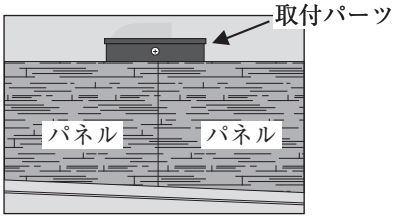


ポイント
パネル長手方向の接続位置は取付パーツの中心で跨ぐように取り付けてください。

手順3　2段目以降のパネルの取付

1 取付パーツの固定

取付パーツを下地の柱・間柱（または野縁）の位置に合わせて455㎜以下の間隔で、１段目のパネル上部に差し込み、同梱のネジで固定してください。



2 取付パーツを固定後、2段目のパネルのメン実を取付パーツに差し込み、パネルの直線性を確認してください。

ポイント

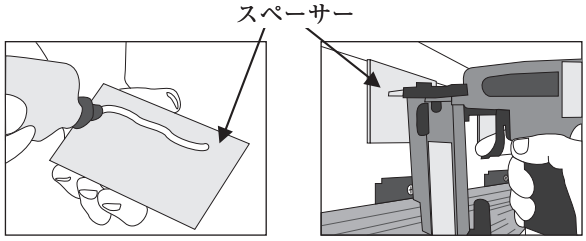
取付パーツに差し込むことにより、1段目のパネルと2段目のパネルの間に約0.5㎜の隙間があきますので、無理に叩き込まないようにしてください。

以降はこの作業を繰り返します。

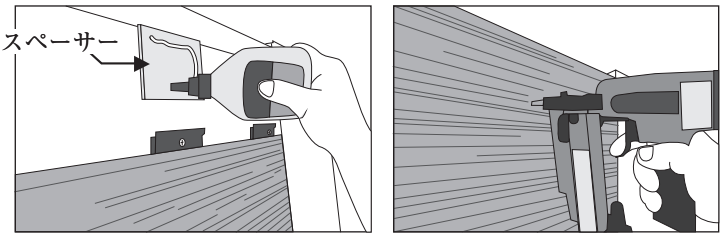
手順4　最上段のパネルの取付

1 最上段のパネルは残りの高さ寸法から、パネルを取付パーツに差し込む際に可動に必要な寸法（約5㎜以上）を差し引いた寸法でカットしてください。

2 同梱のスペーサーを必要長さにカットし、下地との接着面に木工用接着剤を塗布し、下地の柱・間柱（または野縁）のある位置にネジまたはフィニッシュネイルで固定してください。



3 スペーサーに木工用接着剤を塗布してから最上段のパネルを取付パーツに差込み、パネル表面からスペーサー取付位置にフィニッシュネイルで固定してください。



手順5　施工後も美しく（養生）

・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。

ポイント

製品に直接、養生テープを貼らないでください。剝がした際に表面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

5 現場塗装について

・無塗装品に現場塗装をする場合は、必ず製品裏面などで試し塗りを行い、仕上がりをご確認ください。
・現場塗装をする場合は、下記の塗料をお薦めします。

＜推奨塗料＞

メーカー名	商　品　名
日本オスモ株式会社	オスモカラーエキストラクリアー オスモカラーウッドワックス オスモカラーカントリーカラー

6 お引き渡しまでの間のご注意

換気についてのご注意

当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気に努めてくださいますよう、お願いいたします。

水ぬれ等に対するご注意

工事完了後は、雨水にぬらさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水ぬれした場合はすぐに拭き取り十分に乾かしてください。ぬれたまま放置しておくと、シミになることがあります。

7 お手入れの方法について

・ほこり払いなど、日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
・水ぬれ、油汚れなどの汚れはすぐに拭き取ってください。
・クレヨン・油性ペンなどによる汚れは落ちにくいですが、染み抜き用クリーナーなどの使用はご遠慮ください。
・無塗装品については、サンドペーパー（＃240 程度）で表面を軽くこすると汚れがおちます。

WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社　大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054
東京支店　東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京支店
- 東京チーム 03-5569-5512
- 千葉チーム 03-5569-7743
- 東部特需ユニット第1 03-5569-5513
- 東部特需ユニット第2 03-5569-7769
- 東部集合ユニット 03-5569-5514
- 東部アメリビユニット 03-5569-7701

大阪
- 大阪チーム 06-6245-9501
- 西部特需ユニット 06-6245-9502
- 西部集合ユニット 06-6245-9503
- 西部アメリビユニット 06-6245-9060

北海道（札幌） 011-207-1177
東北（仙台） 022-284-5824
新潟 025-246-7474
北関東（上尾） 048-775-0471
東京西（府中） 0423-61-3634
神奈川 0466-45-8867

名古屋 052-238-2081
北陸（金沢） 076-292-1830
広島 082-246-3361
四国（高松） 087-866-9609
九州（福岡） 092-481-5228

JA-2N 13.07